

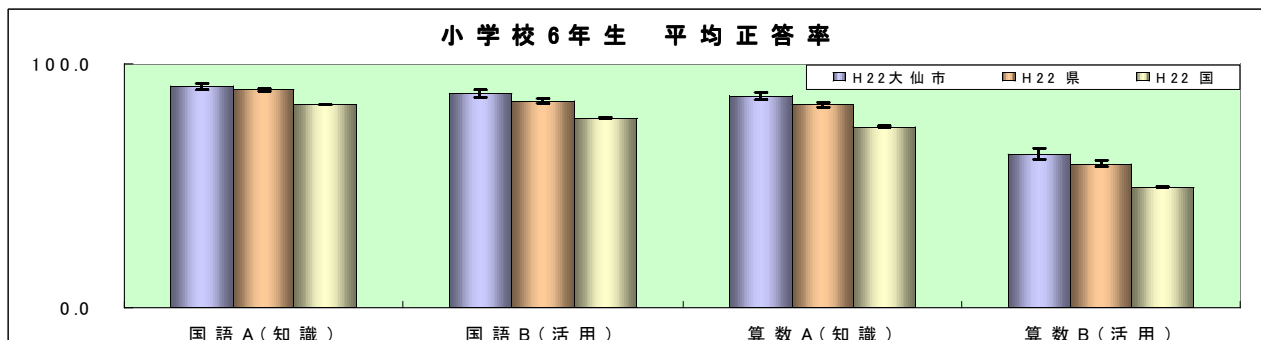
# 平成22年度全国学力・学習状況調査について

大仙市教育委員会

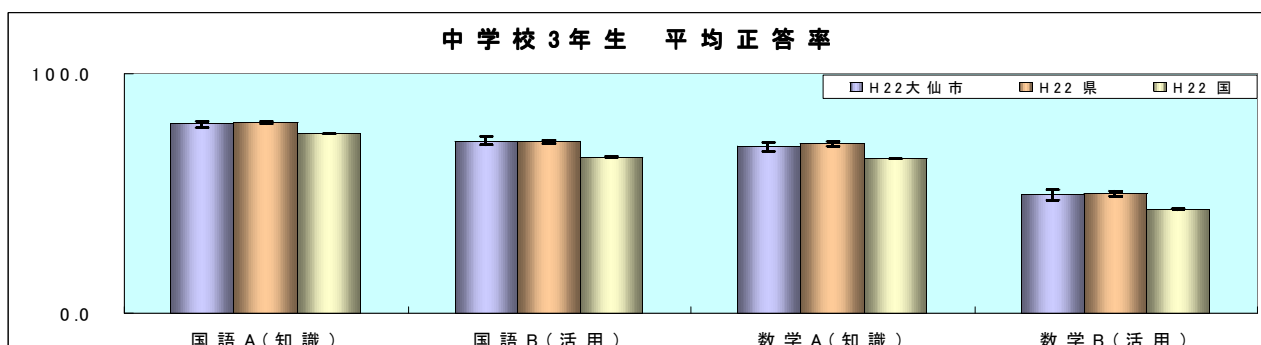
## 〔留意点〕

- ・抽出調査であり、平均正答率は誤差も含めた数値の幅（推計値の95%の信頼区間〔棒グラフ上部「E」〕）を踏まえる必要があるとの国の分析方法に準じ、市としての分析を行った。
- ・95%の信頼区間とは、統計学的に受験者の95%がその範囲に含まれることを意味している。

## 教科に関する調査結果



○国語B、算数A、Bは全国及び本県の平均正答率を上回り、国語Aは全国平均正答率を上回り、本県の平均正答率とほぼ同程度であることから、おおむね良好な状況にある。



○国語A、B、数学A、Bのいずれも全国平均正答率を上回り、本県の平均正答率ともほぼ同程度であることから、おおむね良好な状況にある。

## 概観

- 全国及び本県との比較における本市の状況は、教科に関する調査及び生活習慣・学習環境に関する質問紙調査のいずれの結果も、小・中学校共におおむね良好な状況にあるととらえている。
- 〔小学校6年生〕今後もさらなる伸長が期待される。国語B、算数Bは、本県の平均正答率との差が徐々に広がっており、引き続き活用にかかわる授業改善の推進と充実に努めたい。  
〔中学校3年生〕国語A、数学Aでは、基礎的・基本的な内容の定着の徹底を、国語B、数学Bでは、論理的に記述する力の一層の向上を図る必要がある。
- 〔学習指導全般〕学習指導の在り方等について、小・中学校の連携した取組を強化する必要がある。
- 〔生活習慣・学習環境等〕学習、読書、テレビの時間や手伝いの在り方などについて、引き続き家庭との連携を密にして向上を図る必要がある。
- これは、本市の児童生徒が望ましい生活の中で学習に取り組んでいる結果であるとともに、家庭や地域が好ましいかわりをもって児童生徒の成長を支え、併せて学校の方針等に建設的に協力してくださったおかげであると感謝している。
- 市教育委員会では、本調査結果を十分に活用し、児童生徒一人一人の課題の改善状況を点検するフォローアップシートや指導方法改善に生かす資料等を提示するとともに、教育施策の見直しを図るなどして、各学校の取組の支援に力を注ぎたいと考えている。